

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-139	12-088	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)		
<p>Association between alcohol screening scores and mortality in black, Hispanic, and white male veterans.</p> <p>黒人、スペイン系、白人退役軍人男性におけるアルコールスクリーニングスコアと死亡率との関連</p>		
執筆者		
Williams EC, Bradley KA, Gupta S, Harris AH.		
掲載誌		
Alcohol Clin Exp Res. 2012 Dec;36(12):2132-40.		
キーワード		
アルコールスクリーニングスコア、死亡率、人種・民族		
要 旨		
<p>目的：</p> <p>Alcohol Use Disorders Identification Test Consumption (AUDIT-C) 質問票のスコアが死亡率と関連するが、人種・民族により関連がどのように変化するか未だ不明である。</p> <p>方法：</p> <p>黒人 (n=13, 068)、スペイン系 (n=9, 466)、白人 (n=182, 688) の退役軍人男性外来患者に AUDIT-U を郵便調査により行った。ロジスティック回帰分析モデルで人種・民族により AUDIT-C スコア (0、1~4、9~12) と 24 か月後の死亡率との関連が変化するかどうかを人口統計、喫煙状況、罹患疾患により調整して、検討した。</p> <p>結果：</p> <p>AUDIT-C スコア 1~4 の調整死亡率は黒人 0.036、スペイン系 0.033、白人 0.054 であった。人種・民族は AUDIT-C スコアと死亡率の関連に影響した (p=0.0022)。スペイン系と白人において有意に死亡率が上昇した、すなわちスコア 1~4 と比較して、0、5~8、9~12 の順にスペイン系では ORs1.93 (95%CI:1.50-2.49)、ORs1.57 (1.07-2.30)、ORs1.82 (1.04-3.17)、白人では ORs1.34 (95%CI:1.29-1.40)、ORs1.12 (1.03-1.21)、ORs1.81 (1.59-2.07) で、黒人ではスコア 1~4 と比較して、0、5~8 は ORs1.28 (1.06-1.56)、ORs1.50 (1.13-1.99) と有意に相対危険度が上昇したが、9~12 では ORs1.27 (0.77-2.09) と有意な関連は認めなかった。ポストホック検定では喫煙と AUDIT-C スコアとの間の交互作用が人種・民族を超えた違いに起因することが示唆された。</p> <p>結論：</p> <p>退役軍人男性において、アルコールスクリーニングスコアと死亡率の関連は人種・民族に依存して有意に変化した。この知見は、人口動態的に調整された飲酒の医学的な影響をフィードバックするために、自動的にリスクを計算するシステムに含めることが可能である。</p>		